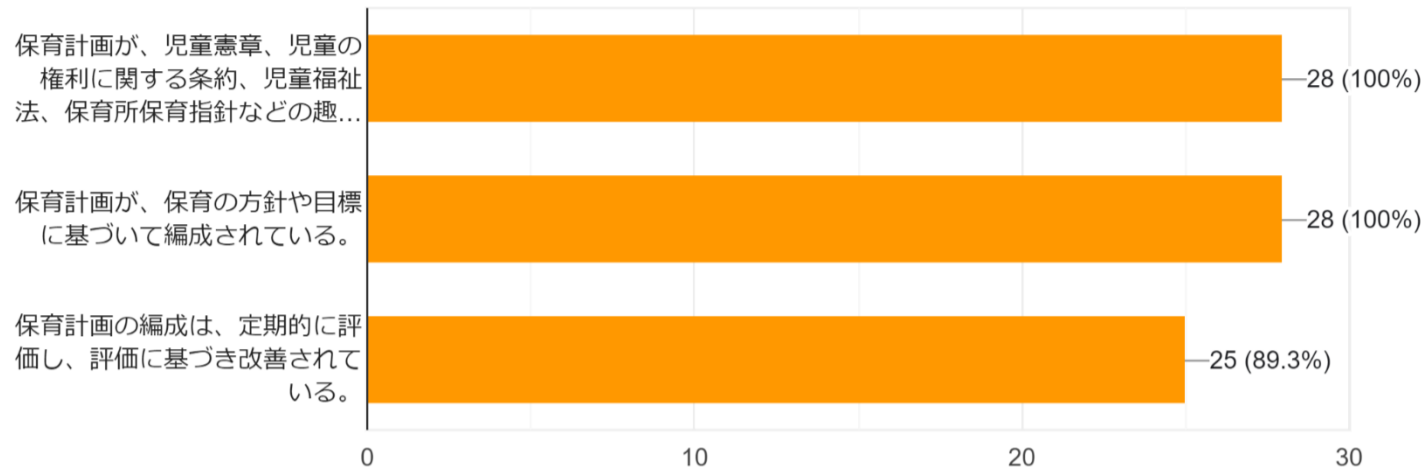


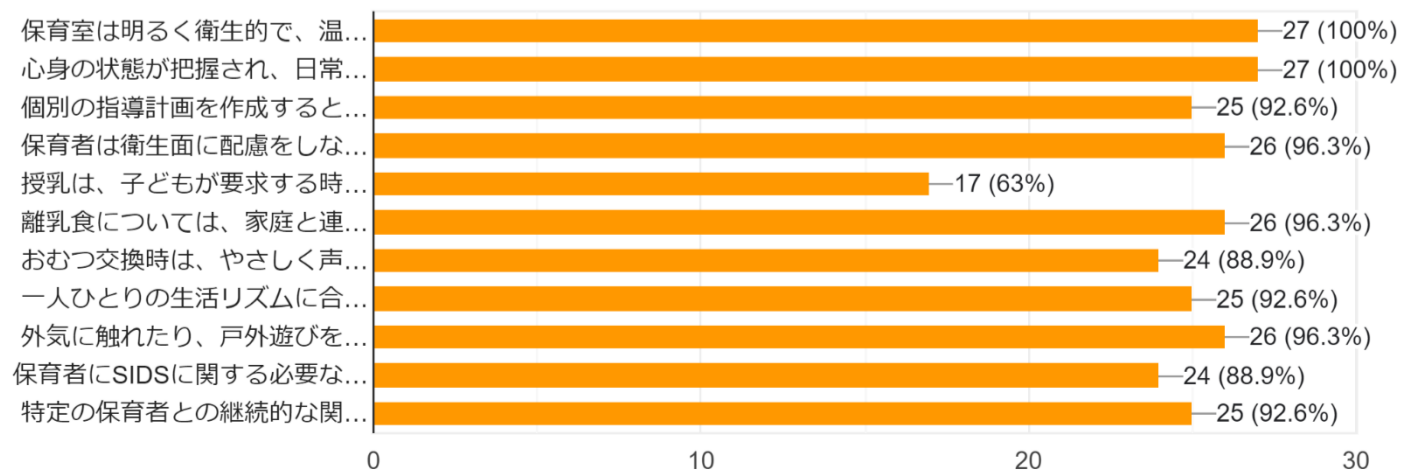
保育計画

- 保育計画が、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成されている。
- 保育計画が、保育の方針や目標に基づいて編成されている。
- 保育計画の編成は、定期的に評価し、評価に基づき改善されている。
- その他: _____



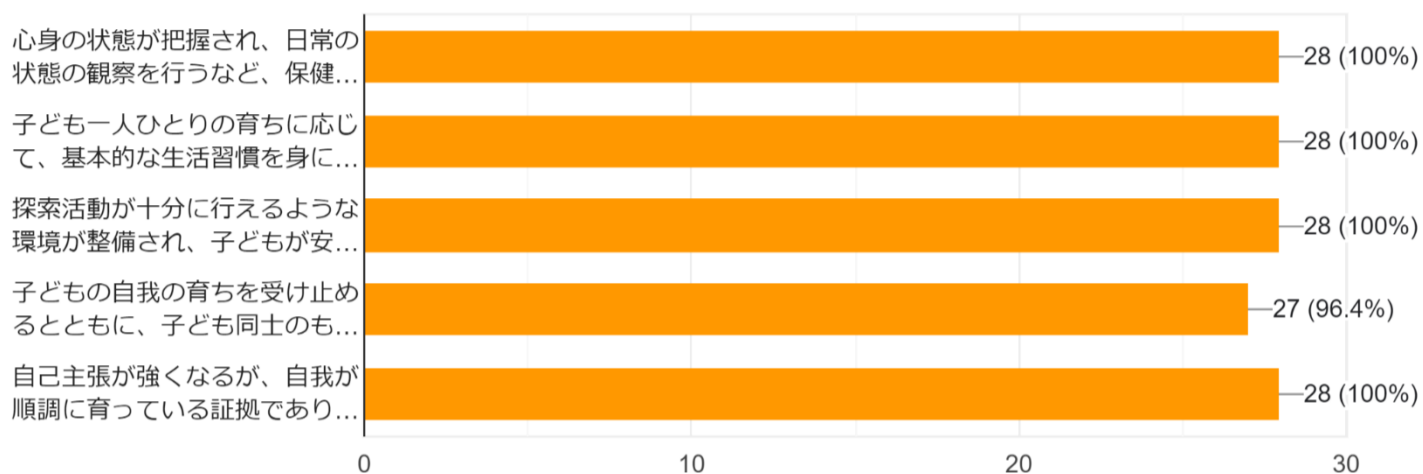
0歳児保育について

- 保育室は明るく衛生的で、温かな雰囲気があり、なおかつ安全性に配慮しながら、子どもが安心して人や物と関われる環境が整備されている。
- 心身の状態が把握され、日常の状態の観察を行うなど、保健的な配慮をしている。
- 個別の指導計画を作成するとともに、一人ひとりの子どもに応じた記録や評価を行っている。
- 保育者は衛生面に配慮をしながら、一人ひとりの子どもの状態に応じて丁寧なかかわりをしている。
- 授乳は、子どもが要求する時に、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。
- 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っている。
- おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。
- 一人ひとりの生活リズムに合わせて食事や睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されるとともに、一人ひとりに応じた援助が行われている。
- 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。
- 保育者にSIDSに関する必要な知識が周知され、乳児を寝かせる場合には仰向けにし、呼吸や健康状態を定期的に確認している。
- 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。
- その他: _____



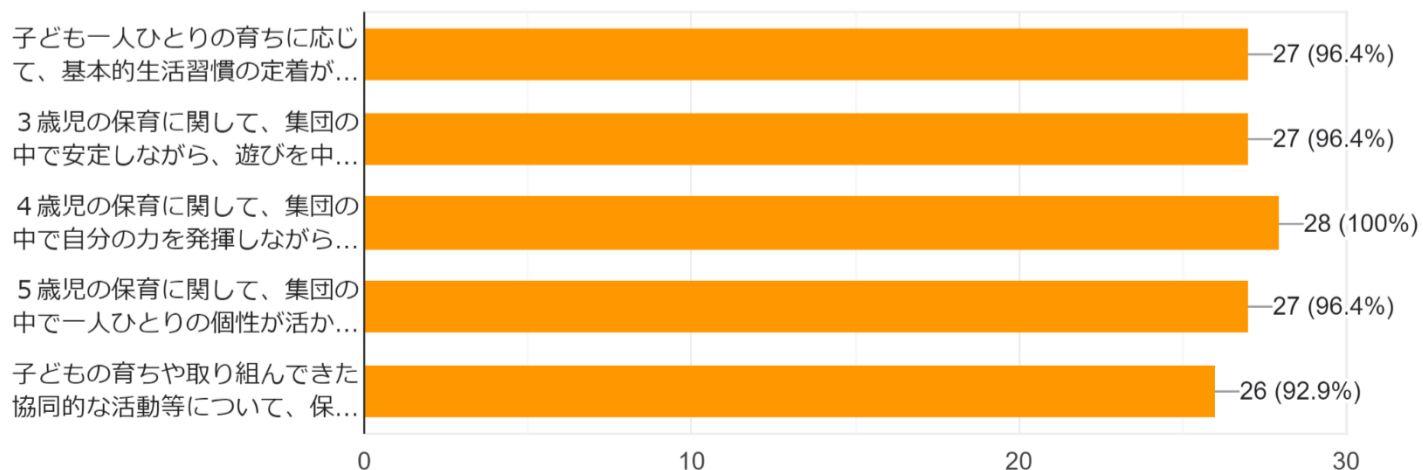
1・2歳児保育について

- 心身の状態が把握され、日常の状態の観察を行うなど、保健的な配慮をしている。
- 子ども一人ひとりの育ちに応じて、基本的な生活習慣を身につけられるような配慮がされている。
- 探索活動が十分に行えるような環境が整備され、子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育者が関わっている。
- 子どもの自我の育ちを受け止めるとともに、子ども同士のもめ事等に対して保育者が適切な関わりをしている。
- 自己主張が強くなるが、自我が順調に育っている証拠であり、保育者は子どもの気持ちをしっかりと受けとめている。
- その他: _____



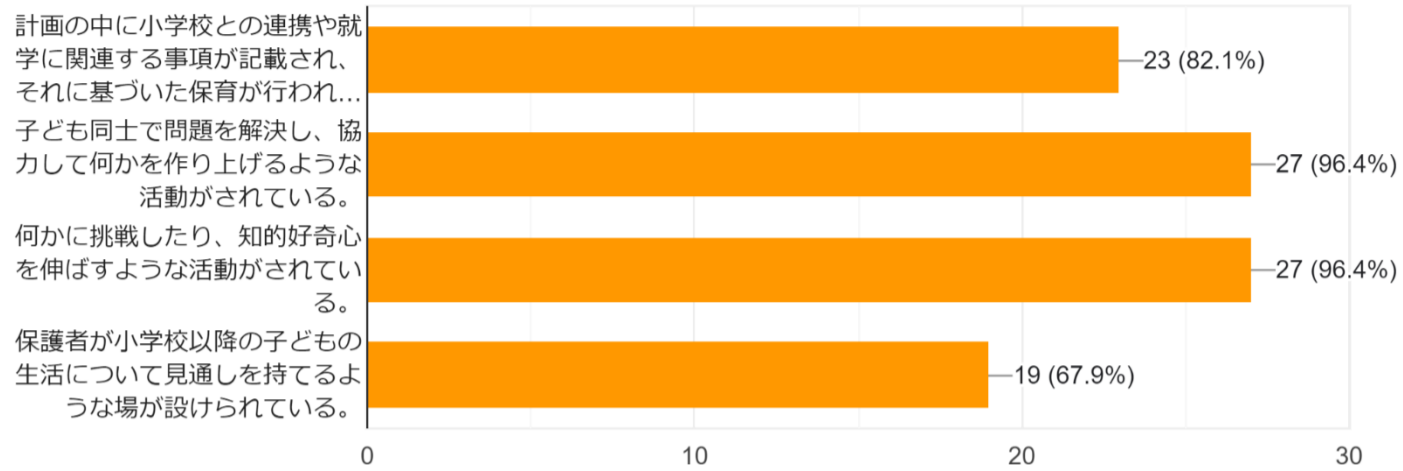
3歳以上児の保育について

- 子ども一人ひとりの育ちに応じて、基本的な生活習慣の定着が図られている。
- 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境が整えられ、保育者が適切に関わっている。
- 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境が整えられ、保育者が適切に関わっている。
- 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの個性が活かされ、友達と協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境が整えられ、保育者が適切に関わっている。
- 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える配慮がされている。
- その他: _____



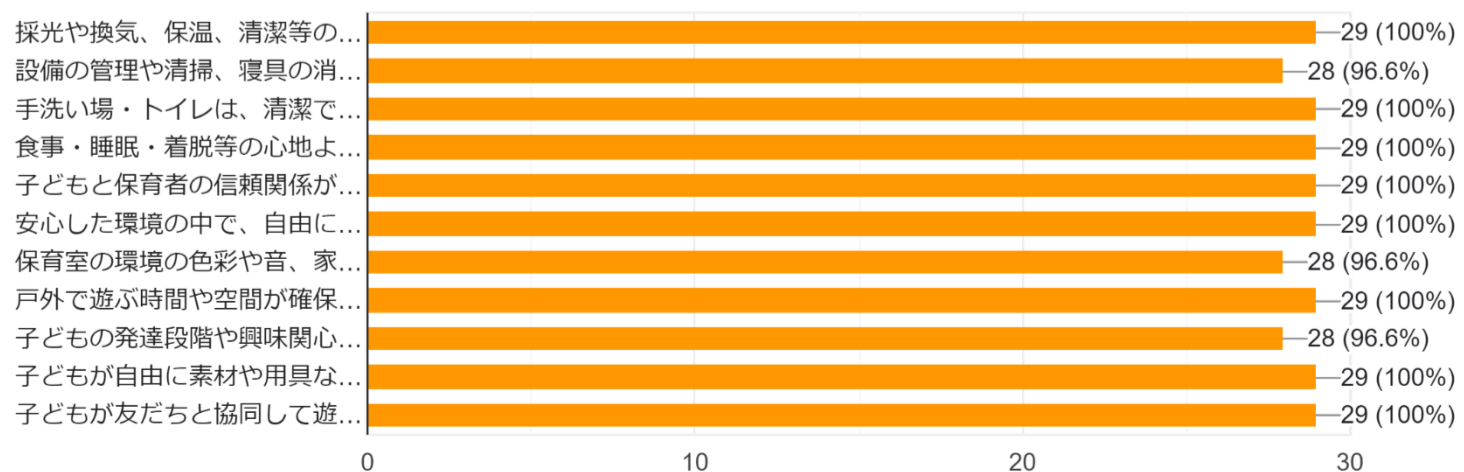
小学校との連携や就学を見通した計画

- 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
- 子ども同士で問題を解決し、協力して何かを作り上げるような活動がされている。
- 何かに挑戦したり、知的好奇心を伸ばすような活動がされている。
- 保護者が小学校以降の子どもの生活について見通しを持てるような場が設けられている。
- その他: _____



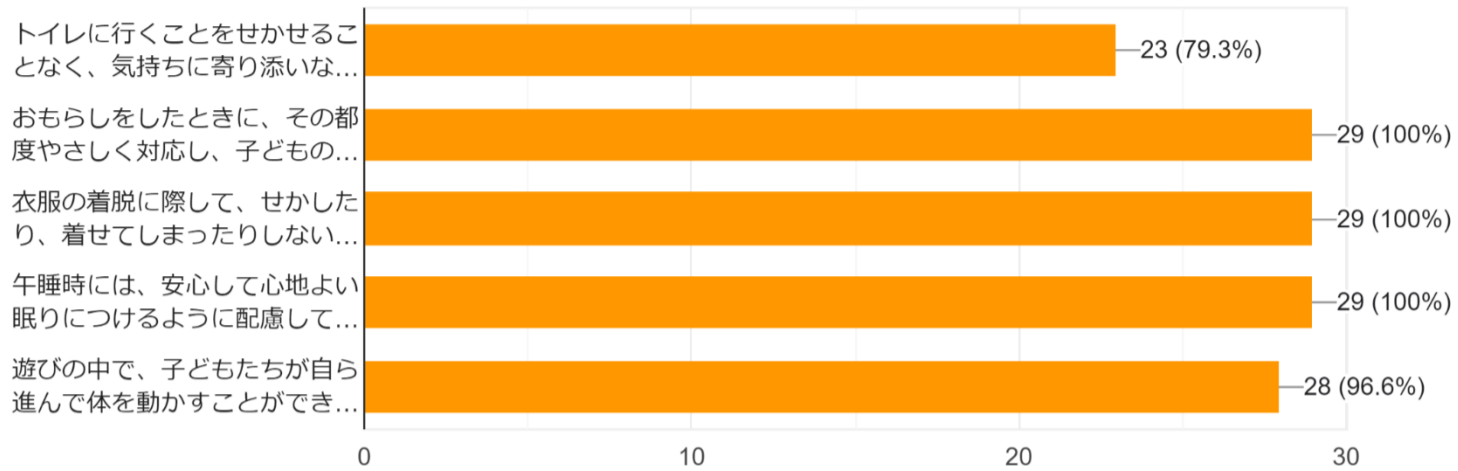
保育園の生活環境

- 採光や換気、保温、清潔等の環境保健に配慮している。
- 設備の管理や清掃、寝具の消毒や乾燥などが十分に行われ、保育所の屋内・外ともに清潔に保たれている。
- 手洗い場・トイレは、清潔で、子どもが利用しやすく用意され、安全への工夫がなされている。
- 食事・睡眠・着脱等の心地よい生活空間が確保されている。
- 子どもと保育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時などにいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。
- 安心した環境の中で、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。
- 保育室の環境の色彩や音、家具や遊具の素材・配置が工夫されており、安心して豊かな活動ができるように配慮されている。
- 戸外で遊ぶ時間や空間が確保されている。
- 子どもの発達段階や興味関心に即した玩具や遊具などが用意されている。
- 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
- 子どもが友だちと協同して遊べるような機会が提供されている。
- その他: _____



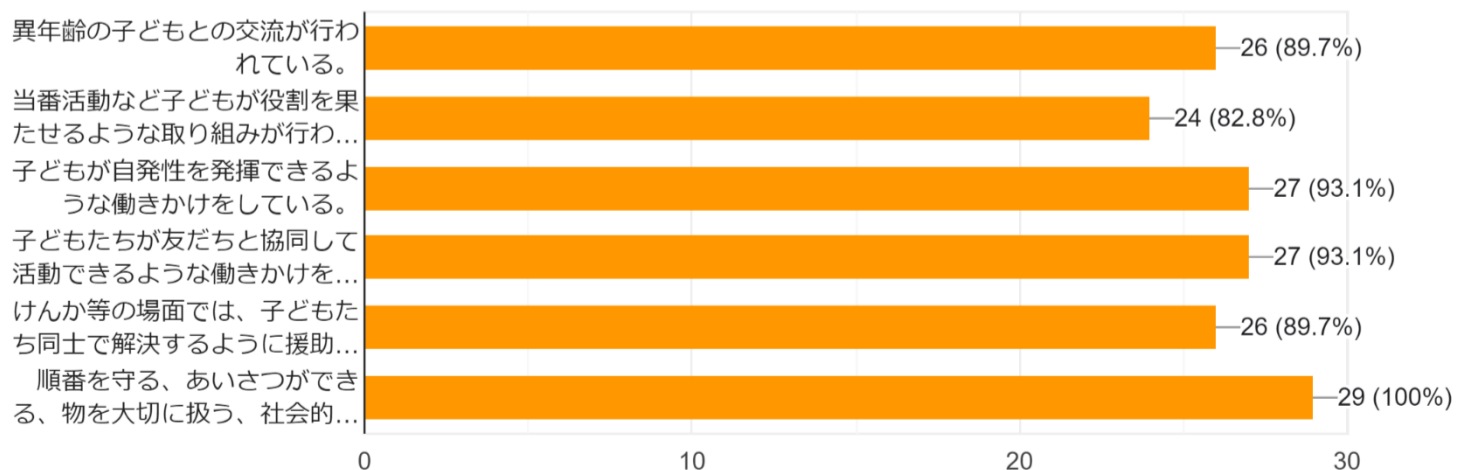
基本的な生活習慣について

- トイレに行くことをせかせることなく、気持ちに寄り添いながら促す配慮をしている。
- おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。
- 衣服の着脱に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。
- 午睡時には、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。
- 遊びの中で、子どもたちが自ら進んで体を動かすことができるような働きかけがされている。
- その他: _____



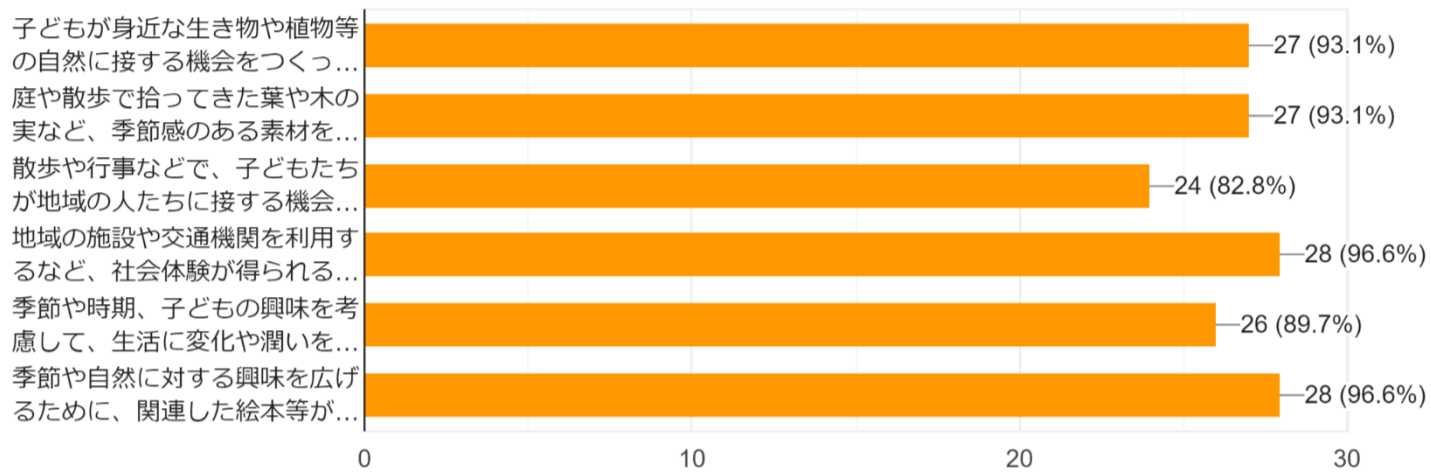
主体的な活動、友だちとの協力的な活動ができるような働きかけ

- 異年齢の子どもとの交流が行われている。
- 当番活動など子どもが役割を果たせるような取り組みが行われている。
- 子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。
- 子どもたちが友だちと協同して活動できるような働きかけをしている。
- けんか等の場面では、子どもたち同士で解決するように援助している。
- 順番を守る、あいさつができる、物を大切に扱う、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
- その他: _____



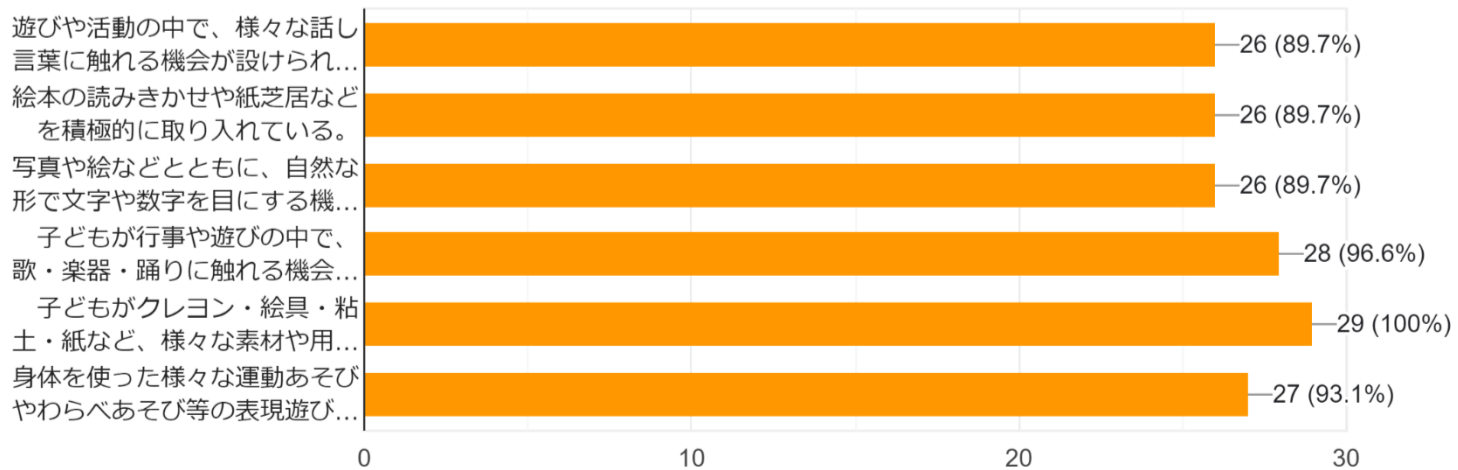
子どもが身近な自然や社会とかかわれる環境

- 子どもが身近な生き物や植物等の自然に接する機会をつくっている。
- 庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を子どもたちが積極的に利用し、遊びや環境の中に取り入れている。
- 散歩や行事などで、子どもたちが地域の人たちに接する機会がある。
- 地域の施設や交通機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
- 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える地域の伝統的な行事などを日常保育の中に取り入れている。
- 季節や自然に対する興味を広げるために、関連した絵本等が準備されている。
- その他: _____



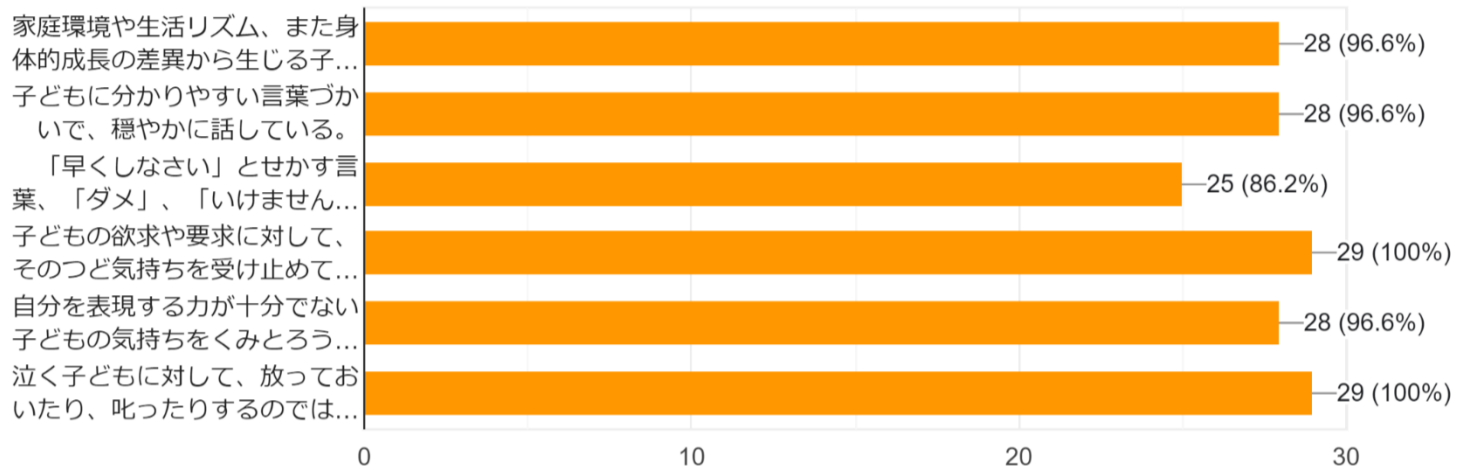
言語環境・表現活動

- 遊びや活動の中で、様々な話し言葉に触れる機会が設けられている。
- 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。
- 写真や絵などとともに、自然な形で文字や数字を目にする機会がある。
- 子どもが行事や遊びの中で、歌・楽器・踊りに触れる機会がある。
- 子どもがクレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材や用具などを自分で考え選んで工夫して遊ぶことができるように用意されている。
- 身体を使った様々な運動あそびやわらべあそび等の表現遊びが取り入れられている。
- その他: _____



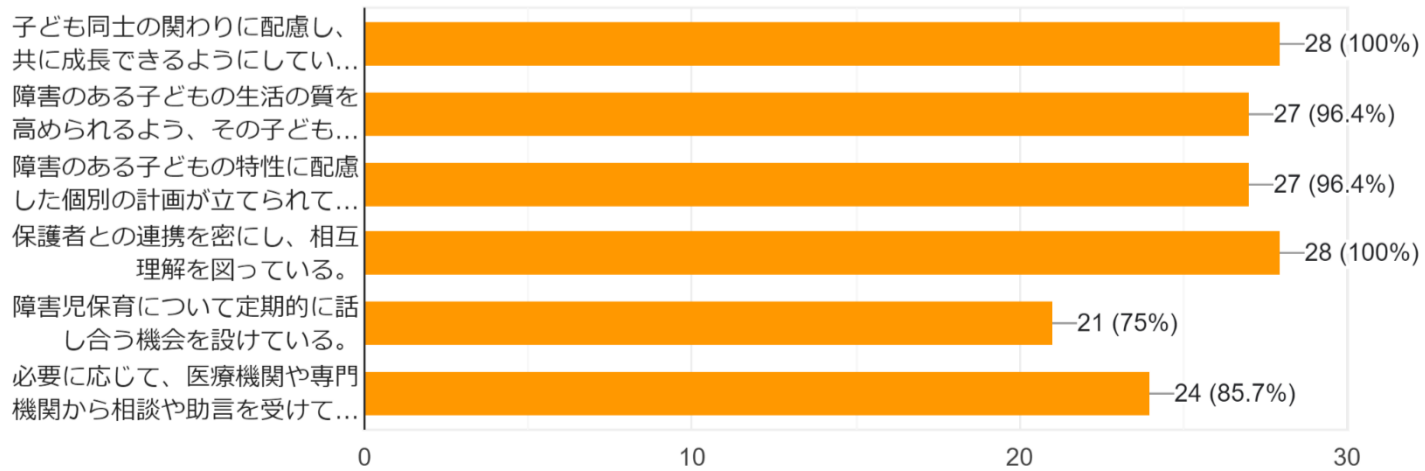
個人の特性を尊重した対応

- 家庭環境や生活リズム、また身体的成長の差異から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。
- 子どもに分かりやすい言葉づかいで、穏やかに話している。
- 「早くしなさい」とせかす言葉、「ダメ」、「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている。
- 子どもの欲求や要求に対して、そのつど気持ちを受け止めて対応している。
- 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
- 泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。
- その他: _____



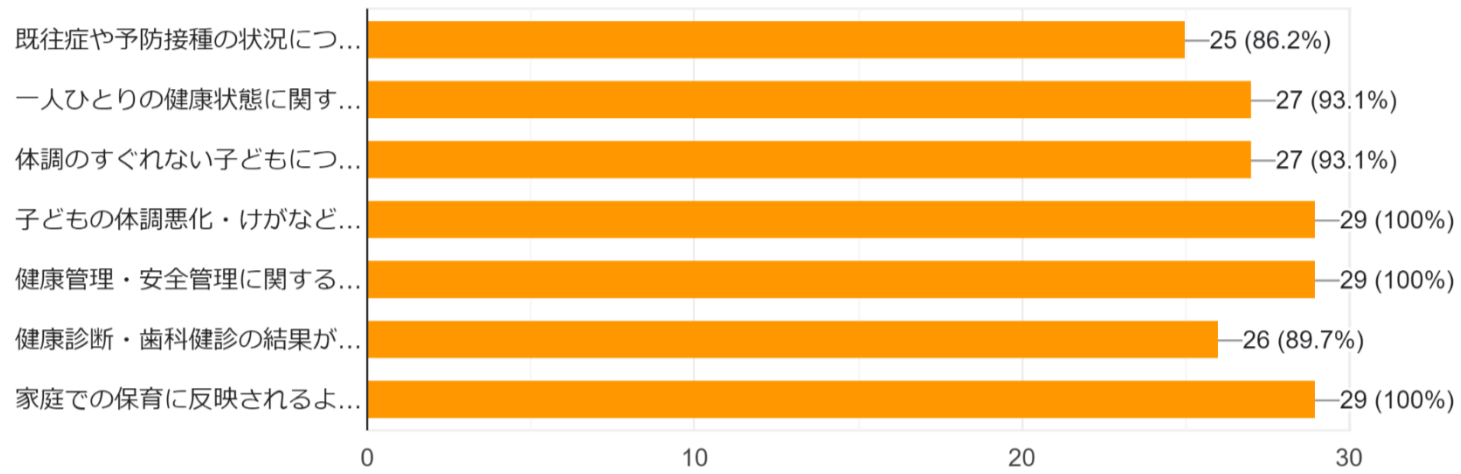
障害のある子どもが安心して生活できる保育環境

- 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
- 障害のある子どもの生活の質を高められるよう、その子どもの特性を活かすように遊びや全体の保育の計画が作成されている。
- 障害のある子どもの特性に配慮した個別の計画が立てられている。
- 保護者との連携を密にし、相互理解を図っている。
- 障害児保育について定期的に話し合う機会を設けている。
- 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
- その他: _____



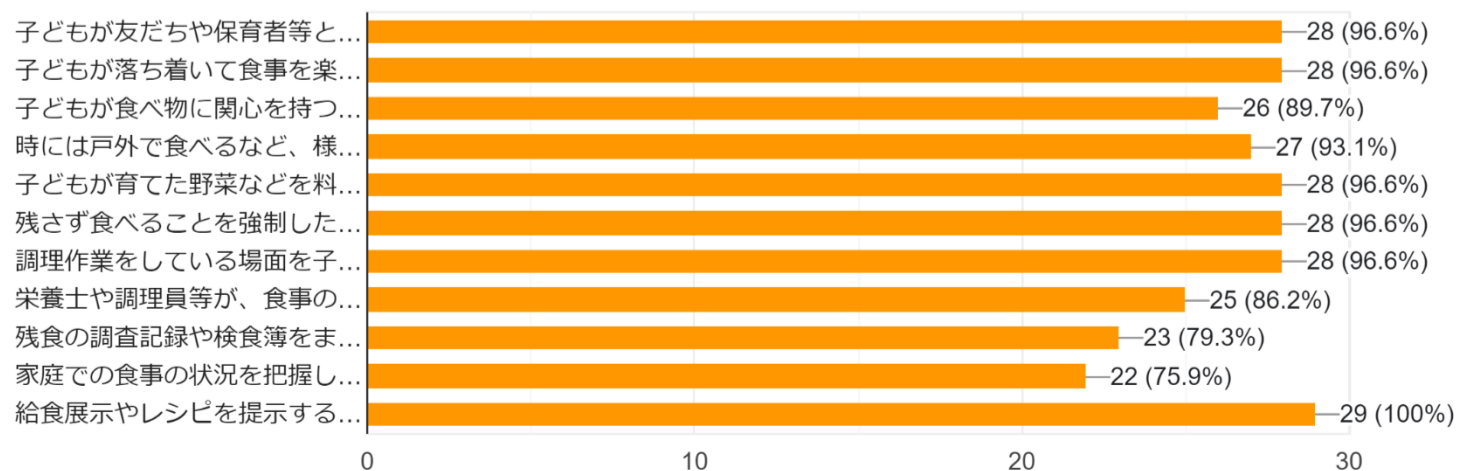
子どもの健康管理

- 既往症や予防接種の状況について、保護者から情報を得ている。
- 一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知されている。
- 体調のすぐれない子どもについては、保護者と確認しその日の過ごし方について柔軟に対応している。
- 子どもの体調悪化・けがなどについてはとくに留意して保護者に伝え、事後の確認をしている。
- 健康管理・安全管理に関するマニュアルを作成し、園内研修を行っている。
- 健康診断・歯科健診の結果が記録され、職員に周知されている。
- 家庭での保育に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
- その他: _____



食生活

- 子どもが友だちや保育者等と一緒に食事を楽しんでいる。
- 子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫をしている。
- 子どもが食べ物に関心を持つよう工夫している。
- 時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。
- 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。
- 残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりせず、量を加減できるように工夫している。
- 調理作業をしている場面を子どもたちが見たり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。
- 栄養士や調理員等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
- 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映させている。
- 家庭での食事の状況を把握している。
- 給食展示やレシピを提示するなどし、保護者に保育所で提供する食事に対する関心を促している。
- その他: _____



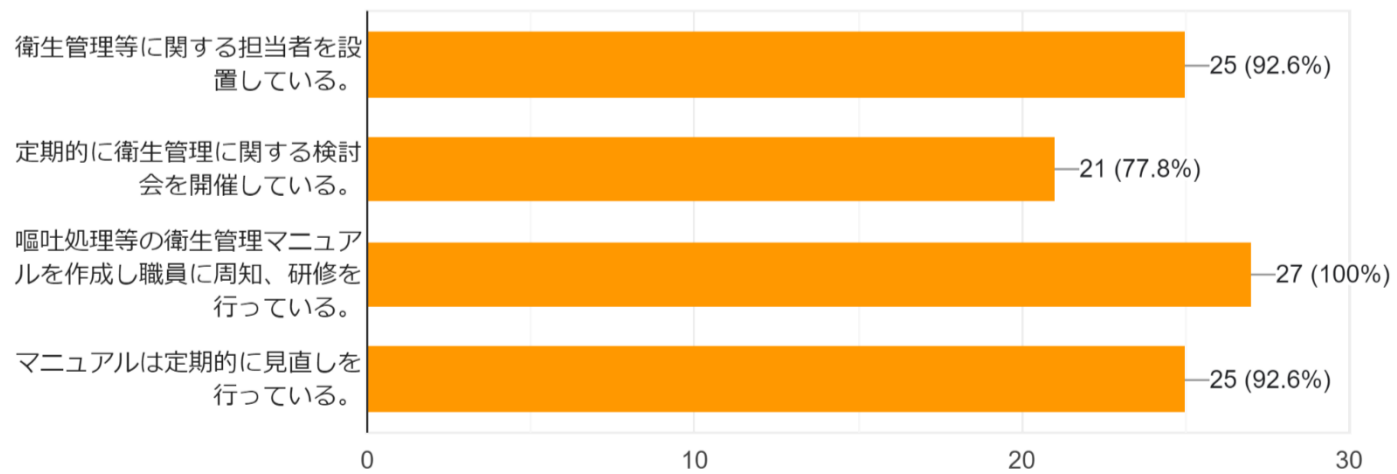
アレルギーの対応

- 主治医等による細かい指示のもと、保育所での生活に配慮をしている。
- 食事の献立や除去期間などに関する主治医からの指示がある。
- アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・その他アレルギーの子どもに対して、主治医の指示のもと、子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。
- 食事の提供において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
- その他: _____



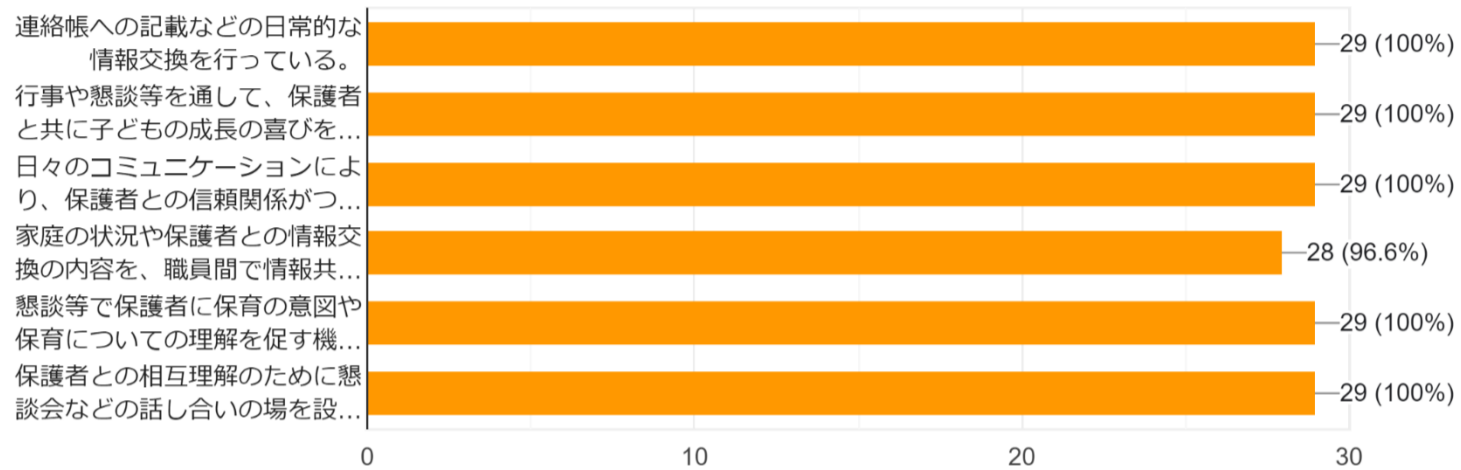
衛生管理（清掃・消毒・嘔吐処理等）

- 衛生管理等に関する担当者を設置している。
- 定期的に衛生管理に関する検討会を開催している。
- 嘔吐処理等の衛生管理マニュアルを作成し職員に周知、研修を行っている。
- マニュアルは定期的に見直しを行っている。



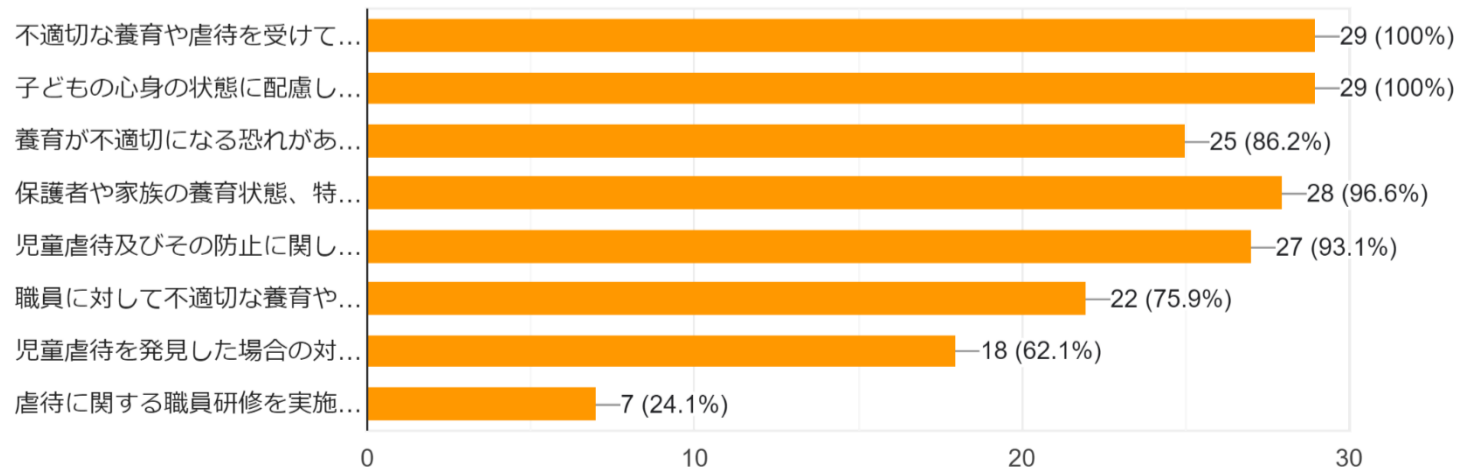
保護者支援

- 連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っている。
- 行事や懇談等を通して、保護者と共に子どもの成長の喜びを共有できる機会を設けている。
- 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係がつけられている。
- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を、職員間で情報共有している。
- 懇談等で保護者に保育の意図や保育についての理解を促す機会を設けている。
- 保護者との相互理解のために懇談会などの話し合いの場を設けている。
- その他: _____



虐待に対する保育所内の体制

- 不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている。
- 子どもの心身の状態に配慮している。
- 養育が不適切になる恐れがあると思われる場合には、常に予防的に精神面、生活面を援助している。
- 保護者や家族の養育状態、特に不適切な養育状態の把握に努めている。
- 児童虐待及びその防止に関して、必要に応じて保護者への啓発に努めている。
- 職員に対して不適切な養育や虐待が疑われる子どもの特徴をはじめ、虐待に関する理解を促すための取り組みを行っている。
- 児童虐待を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
- 虐待に関する職員研修を実施している。
- その他: _____



自己評価

- 保育者が、記録や話し合い等を通じて自らの保育実践を振り返ることにより、自己評価に取り組んでいる。
- 自己評価に当たって、子どもの活動やその結果だけではなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程に配慮している。
- 保育者が自己評価により、自らの保育実践を振り返り、改善や専門性の向上に努めている。
- 保育者の自己評価を「自己評価ガイドライン」等に基づいて、定期的に行っている。
- 職員の自己評価が互いの学び合いや意識の向上につながっている。
- その他: _____

